



みなみやま

発行責任者 / 太田信吉 編集発行 / 愛知国際病院内・病院だより委員会
〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山 987-31 ☎(0561)73-7721

病院事務あれこれ①

～受診に使える保険～

総務課 太田 一道

ここでは、病院事務の仕事を紹介しながら、少し役立つ情報や知っておきたい事柄をお知らせできればと思います。

今回は医療を受ける際の保険についてお話し致します。通常、病院受診時には健康保険を使用します。健康保険は大きく分けて、会社勤めの方とその家族が加入する社会保険と、自営業や定年退職後の方など、社会保険に加入していない方が対象となる国民健康保険とに分けられます。75歳以上（障害のある方は65歳から）になると、後期高齢者医療制度に移行することになります。

日本は国民皆保険制度ですので、ほとんどの方が何らかの公的医療保険に加入し、保険料を支払っています。通常の病気

やケガの医療費は、一部負担を除いた額がその方の加入されている健康保険から医療機関に支払われることとなります。

注意しなければならないことは、健康保険が全ての病気やケガの保険として利用できるわけではない、ということです。例えば、仕事が原因で発生した病気やケガ、交通事故等です。これらは労働者災害補償保険（以下労災保険）や自賠責保険の適用となり、健康

保険は原則使用できないことが法律で定められています。会社は全ての従業員を労災保険に加入させることが義務付けられていますし、車の自賠責保険料を支払わないと車検が通りません。時には窓口で「手続きが面倒だから健康保険でやってほしい」などとお願



いされることもあります。医療機関はこうした依頼をお受けすることはできません。医師の判断によって労災、自賠責を判断し、受付では必要な手続きのご案内を致しますのでご理解下さい。



NEO!! つぼ健康法 (8)

東洋医学科 鍼灸師 神谷陽歩

みなみやま読者のみなさまこんにちは。

前回のテーマ、夏バテ解消法はいかがでしたか。私自身もジリジリとした暑い日は、ついクーラーの良く効いた部屋でダラダラとしてしまいます。無理をして熱中症になってはいませんが、夏の暑さを楽しめるよう日々の健康状態に注意したいものです。

今回のつぼ健康法のテーマは、胃腸のつぼ健康法です。

ここ数年、東洋医学科にいらっしゃる患者さんと春と秋が短くなったと話をすることが多くなりましたが、今年は「暑さ寒さも彼岸まで」その言葉通り、しっかりと秋が訪れた気がします。秋は運動、食欲の季節です。外で身体を動かした後に豊富な秋の収穫物を堪能、つい食べ過ぎてしまうのもわかる気がします。

丈夫な胃腸は健康の源です。食べ過ぎや飲み過ぎによる胃腸の酷使で病気にならないように、日頃から胃腸の調子を整えておくことが健康への秘訣です。そのためには、偏食をせず、よく噛んでしっかりと味わい、楽しく食事をして、そして腹八分でとどめましょう。

つぼ健康法は、胃腸の調子を整える足三里や中脘が効果的です。また、胃腸の働きは気持ちに大きく影響されます。悩みや心配事があれば内関を加え、イライラがあれば太衝を加えましょう。

足三里 すねの外側を下から上へさすり上げて指の止まることから外側へ指2本

中脘 みぞおちとおへそを結んだ線の中央

内関 手首の手掌側のしわの中央から上に指3本

太衝 足の甲側で親指と第2指の交わるところの前のくぼみ



チャブレン中井の日々雑感 (18)

チャブレン 中井 珠 恵

「明日葉の会」というご遺族の自助グループの集まりが、2ヶ月に1度当院を会場として開かれています。出席者は、当院のホスピスで大切な方を看取った方々です。土曜日の午後のひととき、お茶とお菓子を召し上がりながら話をなさいます。

ご遺族と一言と言っても、お立場はさまざまです。ホスピスが開設された16年前にホスピスで過ごして以来ずっと会合に出席している方から、一昨年前にホスピスで過ごされた方までいらっしゃいます。およそ15人ほどが集われます。

会合が始まると、お一人ずつそのときに心に留めていることをお話し下さいます。大切な方との思い出を話す方もいらっしゃれば、近況報告をなさる方もいらっしゃいます。近況報告も、旅行・健康・趣味・仕事・家族のイベントとさまざまです。

たとえばある方が70歳になり自動車運転免許の更新をする講習を受けることになったと報告なさいました。「講習は自動車教習所で受けるんです。でも近くの教習所に問い合わせたら、もう予約がいっぱいで」と困り顔でおっしゃいました。すると70歳をすぎた方が「あれは確か、75歳以上になると認知症の検査もするらしいよ」とおっしゃいます。さらに別の70歳代の方が「わたしは病院で認知症の検査をしました。海外から戻ってまだ頭がぼんやりしている日に受けたんです。頭がぼんやりしていて必死に解答しました」と苦笑い。そして80歳すぎの方は「わたしはそのテスト大丈夫でしたよ」と笑顔で

おっしゃいました。

会合の後しばらくして運転していると高齢運転者マークをつけた車を見かけました。「自動車講習の予約は上手くとれたかな。講習はどうだったかな」ということをふと思い出しました。また認知症検査の話をした方が、その後脳梗塞などの大きな病気になっておられないかと案じたりもしました。そして次にお目にかかったときに元気そうなお顔を見るとほっとするのです。こうして2ヶ月に一度、親戚のおじさん・おばさんに会うような心持ちでみなさんにお目にかかります。

一方で集って来られる方が「お子さんは元気？最近風邪が流行っているみたいだけど、大丈夫？」と聞いて下さることもあります。子どもが幼少の頃、1ヶ月に一度は風邪で保育園を休んでいたことを覚えて下さっているのです。このような何気ない会話が、親元を離れておられますと、何とも心強いです。

当院は「地域と共にあり、地域に支えられる医療」を基本理念のひとつとしています。地域の方々は、医療機関として当院を利用して下さるだけでなく、こうして医療を受けた後も病院に集い、日常生活の中でつながりを持ち続けて下さることによって当院を支えて下さっているのだと感じます。



初穂の言いたい放題

「奥様は魔女」

小児科 井手 初穂

昔、「奥様は魔女」というアメリカのドラマがありました。魔女のサマンサと普通の人間ダーリン夫婦の日常を描いたコメディです。世界的大ヒットドラマなので、今でもたまに再放送されていて、若い世代にも有名なドラマです。子どものころ、欠かさずみていました。

サマンサは、なんでも魔法を使えば簡単にできます。でも、ダーリンの願いで、魔法を使わないで暮らそうと努力します。時に、魔法に頼らなければいけなくなり、ダーリンはその魔法でピンチを切り抜けることができます。ある時、魔法はダメだと言っているのに、結局、サマンサの魔法に助けられている自分に気づいてダーリンが落ち込むという話がありました。その葛藤する様子が、子ども心に印象的で、「別に魔法に助けられたっていいのに」と思っていました。

そんな子ども時代のドラマを思い出したのは、淑徳大学の古井景先生の講演を聞いた時でした。「母親は、子どものために魔法の杖を振っている。母親の手助けは、子どもにとっては、願いを叶える魔法の杖。いつまでも、そのような手助けをしていては、子どもは自立できなくなる。子どもが、自分で考え失敗しながら大人になっていくためには、お母さんが魔法の杖をしまわなければならない」というお話でした。もう随分前に聴いた話ですが、母親である自分に

とって、とっても納得できて、ハッとさせられる内容でしたので、それ以来、ときどき思い出しています。過去を振り返り反省しながら、未だに魔法の杖をちょっと使っている自分に気づき、反省することもあります。

実は、女性は、母親として魔法の杖を振るだけでなく、夫に対しても魔法の杖を使っています。サマンサがダーリンを助けるように。本当の魔法を使うわけではありませんが、脱ぎ捨てた洋服が清潔ですぐ着られるようになってダンスの中に入っていたり、帰ってくる時間に合わせてご飯が用意されていたり。行きたいと言っていたところに望み通りの旅行ができて、トランクの中には、すべてのものが整っていて。仕事に夢中になっている間に、子どもが健やかな大人になっていて。妻は、いつでも家族に魔法の杖を振って、皆が快適なように頑張っています。それは、たとえ自分も仕事をしていてもやっているのです。いやいや、うちの妻はそんなにちゃんとやっていないと思ったあなたは、その代わりに、家の中のことや子育てを半分以上やっていますか？

最近、女性が結婚したからなくなってきたという悲しい事実があります。それは、親世代や先輩たちが、魔法の杖を振って、一生懸命仕事をして、家庭も守り、子育てしているのに、男性たちが、その努力を理解せず、その努力の上にあぐらをかいているからでは



ないでしょうか？残業しないで帰っていく家庭のある女性たちを評価しない。子どもの急な病気で突然仕事を休むのを女性に任せておいて、そういう女性の評価を低くして悪く言う男性上司も、実は子持ち。そのような上司と、恋人がオーバーラップしてしまったら、家庭を持つことはバカバカしくなってしまうのではないのでしょうか？

私たちの世代、女性が仕事に出たいと言うと、必ず、「家の中のことをちゃんとやるのならば働きに出ても良い」と言われました。いつも、女性は、働くことと、家事と子育てがセットになっています。でも、ご飯を食べ、快適に過ごす環境を整え、子どもが健やかでいることをすべて女性に任せて、男性は

仕事だけをするなんて、おかしくありませんか？妻が深く傷つく夫の一言に、病気をした妻に、「僕の食事のことは気にしなくて良いよ」というのがあります。正解は、「ごはんを買って来るね。何が食べられそう？」ですよ。私たちの世代は、夫にも魔法の杖を使いすぎているのです。

子ども、特に男の子に魔法の杖を使い続けると、いつまでたっても女性は報われないのです。奥様は魔女ではないのです。ダーリンが葛藤したように、「どうして僕は妻に何もかもやってもらってしまっているのだろう。自立しなければいけないのに」と葛藤していただけのような世の中になってほしいものです。

紫苑からのお知らせ

ボランティアコーディネーター 東のぞみ

今年4月より、ボランティアコーディネーターの高田清子の後任として入職いたしました、東のぞみと申します。みなさまどうぞよろしくお願いいたします。

ボランティアの活動を通して、あるいはスタッフの患者さんに接する姿から、「痛みに寄り添う」こと、「信頼する」ことの大切さを日々感じております。チームケアの一員として励んでまいりますので、今後とも「紫苑」の活動を見守ってくださいますよう、お願い申し上げます。



病院で行う検査紹介 その5

腹部超音波検査（腹部エコー）

副院長 河村 健 雄

超音波は人間の耳には聞こえない高周波数の音波で直進性が高い性質があります。腹部に超音波を発信して反射波を受診し、コンピューター処理して画像をつくるのが腹部超音波検査（腹部エコー）です。体内の組織はその組成によって基本的な超音波画像が得られますが、腫瘍、ポリープ、炎症、結石などは周囲の正常な組織と組成が異なるため、正常な組織との境界にコントラストが生じます。これを捉えて異常をみつけることができます。

腹部超音波検査でわかることは？

肝臓、膵臓、脾臓、腎臓、前立腺、子宮、卵巣などの実質臓器（かたまりをつくる臓器）の大きさや表面の性質の異常や腫瘍、嚢胞、石灰化があるかを観察します。

胆嚢、胆管、膵管、尿管、膀胱、血管など常時液体で満ちている管腔臓器（くだ状の臓器）の拡張の程度や、ポリープ、腫瘍、結石があるかを観察します。

胃、十二指腸、小腸、大腸などはガスを伴うため超音波検査が苦手とする臓器ですが、腸閉塞や虫垂炎などの異常をみつけることができます。

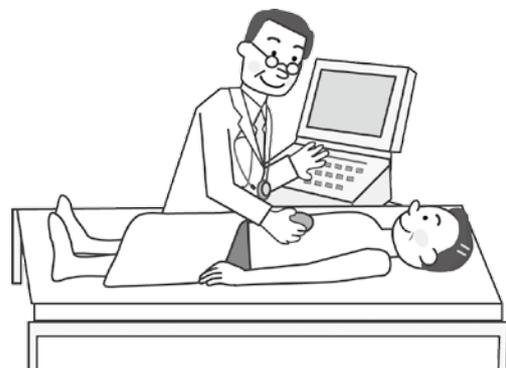
腹部に外傷を受けた時の腹腔内の出血の有無や消化管の穿孔による腹腔内に漏れた消化液やガスの有無を観察します。

腹部超音波検査はどのように行うの？

食事による腸管のガスの影響をおさえるため、朝食を抜いてもらいます。膀胱に尿が十分たまっていた方が膀胱、前立腺、子宮、卵巣が観察しやすいので、検査前の数時間は排尿をがまんしていただきます。

検査台に仰向けに寝て、お腹を十分に広出すように衣服をまくっていただきます。皮膚と音波を出す探触子（プローブ）との間に空気が入らないようにお腹にゼリーを塗ります。プローブを腹部に押し当て、腹部内臓器の画像をモニターで観察します。検査部位により深呼吸をしてもらったり、横向きに寝てもらったりします。

この検査は放射線を使用しないので、被爆の心配はなく妊婦さんでも安心して受けられます。検査時間は部位によって異なりますが、通常 20 分くらいです。



「想い」を伝える

遺言書の書き方 講座

自分の「最期」をどう迎えるか。それは年齢に関係なく、すべての人にとって大きな課題です。その時のために、心の準備もしたいし、残していくものをどうするかも考えたい。できれば大切な人たちに「ありがとう」の言葉や、心からのメッセージも伝えられたら…。

「遺言書」を書くことは、自分の人生を振り返り、この社会の中での自分を考えることでもあります。

講師の平良一器（たいらかずき）さんは、元AHI職員で、今は司法書士として活躍中です。やさしい言葉で、「遺言書」の考え方や書き方をわかりやすく教えてもらいます。

日 時：2015年11月7日(土) 10時～12時

場 所：保健研修所（AHI）

日進市米野木町南山 987-30

（愛知国際病院となり）

講 師：平良 一器（司法書士）

主催・申込：アジア保健研修所（担当：羽佐田）

電 話：0561-73-1950

E-mail：info@ahi-japan.jp

参加費：無料（定員20名、予約をお願いします）

AHIからのお知らせ

—相続登記無料相談会—のお知らせ

日 時：2015年11月28日（土）

10時～12時（ひと組30分・計4組）

（基本的な内容に関する相談会となります）

場 所：アジア保健研修所

電 話：0561-73-1950

（事前予約をお願いします。）



賛助会員募集のお知らせ

愛知国際病院ホスピスでは、賛助会員を募集しています。アメニティーの充実（施設環境、造園、園芸）、ホスピスでの諸行事、ホスピス相談の充実、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のために是非ご協力をお願いいたします。（ご入会いただいた方には年1回の「ホスピスだより」と年4回の「みなみやま」をお送りいたします。）

下記の口座に会費をお振り込み下さい。

郵便振替口座 00890-5-3757

口座名義 愛知国際病院ホスピス賛助会

— 1000円（おいくらでも結構ですが、できましたら5口以上でお願いいたします。）

入会
方法

愛泉館からのお知らせ

パッチワークプログラムのご紹介

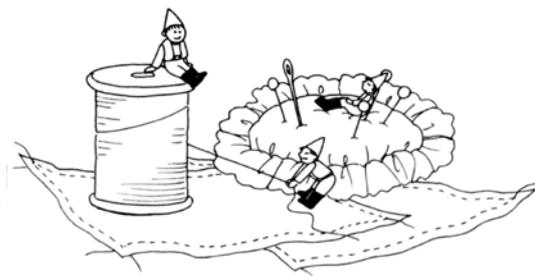
「完成しました！おめでとうございます!!」
できあがったばかりの作品を手に、ゲストとボランティアさんの歓声と拍手が今日もあちらこちらで聞こえます。毎週金曜日、ボランティアの方々のお支えのもと、パッチワークプログラムが始まって15年。布に向かい一針一針、丁寧に手仕事ができるこの時間をゲストの皆様はとても楽しみにされています。作品は、巾着袋やポシェット、帽子など、生活の中ですぐに役立つものばかりです。毎回、どの作品も布の組み合わせが素敵で、布の持つ独自の温かみと手縫いの良さが合わさり、世界にひとつだけの貴重な一品へと仕上がっていきます。

参加されるのは女性ゲストのみなさまです。

大正・昭和と激動の時代を生きてこられた方々…物があふれ何もかもが便利になった現代とは違い、わずかな灯りを頼りに子どもたちの着物を縫ったであろう昔のお姿が目につかび、今もなお変わらない針仕事の手先の素晴らしさに頭が下がります。

昔を懐かしみつつ、そしてできあがる新しい作品に期待を抱きつつ、ボランティアさんとともに愛泉館パッチワークは行われています。

ボランティアコーディネーター 浅井真希
老人保健施設愛泉館 0561-74-1711



- ・あの暑い夏の日はどこに行ったのか、冬の足音が聞こえる肌寒さです。急に冷えるので、風邪をひかれる患者さんが多いのがこの季節です。
- ・インフルエンザの予防接種を今年も承っております。
一般の診察時間帯において頂いても接種は可能（小児科除く）ですが、ご予約頂いた方が待ち時間の少ない「特別枠」で接種して頂けます。詳細は病院のウェブサイトをご覧ください。また、予診票も印刷できますのであらかじめご記入頂くとさらにスムーズです。

（「愛知県祭病院」と検索するとウェブサイトへアクセスできます）

これまでお寄せ頂いているご意見・ご感想、大変感謝致しております。今後ともよろしくご願ひ申し上げます。

宛先は

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山 987-31 愛知国際病院内「みなみやま」編集部
電子メールの場合、アドレスは m.kondo@aisen-kai.jp です。お待ちいたしております。

編集長 近藤正嗣